

令和6年4月～令和7年3月 いきものガイドウォーク(全10回) 予定と実績

月	日	担当	観察内容	写真1	写真2	コース図
4	27	二宮靖男 毛利英美子	<p>天候：曇り 参加者：20名 報告者：二宮靖男 テーマ：樹の花 野の花 竹林の筍</p> <p>この日、樹の花、新緑の葉の展開など立夏間近を伝える風景が園内随所に見られました。 ○樹に咲く花・果実 今年の藤棚は、昨年と比べて「隔年開花」の傾向があるのか花数が少ないようでした。C16近くのカワズザクラは早咲きならではの果実の生長ぶりで、早くも赤く染まったサクランボ。ミズキは棚状の枝に白い雪のような花が満開。ユリノキは大木の枝が垂れ下がり、間近な高さで観察、チューリップツリーの美しさにみなさん感嘆。御衣黄（ギョイコウ）は、すでに花後も落花で観察、毛利さんから鬱金との差異なども説明いただきました。</p> <p>○野の花 園内草地のオニタビラコ、オオジシバリ、ハルジオンなど多くの野草が花盛り。今回、都市公園では希少なカントウタンポポにスポットを当てて各種の特徴と分布状況など説明しました。日本庭園ではモウソウチクの筍の形状と生長力について、竹林に咲くアヤメ属のイチハツが筍の隣で、美しくコラボしていました。このほかハルガヤのクマリンの芳香、スズメノヤリのタネにつくエライオソームなどサンプルを見せてアリ散布の説明などしました。終了後、公園ボランティアの人の情報で、キンラン、ギンラン、マツバラ、ヒトツバタゴ（ナンジャモンジャノキ）なども確認しました。</p>	 <p>総苞片は反り返らず先端に突起がある</p> <p>カントウタンポポ カントウタンポポは、総苞外片が反り返らず、先端に突起がある特徴がある。県内には、このほか、セイヨウタンポポ、アカミタンポポ、ウスギタンポポ、シロバナタンポポ、エゾタンポポなどが分布している。セイヨウタンポポなどとの交雑種が多い中、今や都市部では希少な存在である。「レンゲ、タンポポ、スミレソウ」は、かつて春を彩る代表的な野の花の一つであった。</p>	 <p>モウソウチク 「竹の秋」という言葉がある。春には筍に養分がいくことで、葉が黄ばみ、落葉する様からこう呼ばれる。俳句の季語でもある。いま、竹の子は旬の食材で、筍御飯、若筍煮、お吸い物、とれたては刺身にもなる。筍は「竹冠に旬」と書く。一句は10日のこと。筍は10日で竹になる成長力を言い表している。松竹梅でおなじみの瑞祥植物である。</p>	

令和6年4月～令和7年3月 いきものガイドウォーク(全10回) 予定と実績

月	日	担当		観察内容	写真1	写真2	コース図
5	25	佐藤	久保				
6	22	辰雄	渡辺				
9	28	善宝	毛利				
10	19	河野	鈴木				
11	23	芳野	辰尾				
12	21	二宮	善宝	冬越しの生きもの、冬芽、ロゼット、虫たち			
1	25	渡辺	芳野	バードウォッチング			
2	22	松本	佐藤				
3	22	久保	河野				